

情勢報告（令和元年 9 月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

露地ショウガの安定出荷を目指して～ JAれいほくショウガ現地検討会～



生育状況を検討する部会員

8月27日、JA高知県れいほく開発部会は、土佐町で露地ショウガの現地検討会を開催し、計6名の生産者が参加し、生育や管理状況について検討しました。

普及所からは、土寄せや時期別の必要かん水量、病虫害防除について紹介しました。参加者からは、天気にかけて白星病の防除をしようという意見がありました。

普及所は、安定出荷のため、JAと連携して栽培管理の徹底に向けて支援していきます。

障害者への理解を深めて農福連携を進めます ～障害者の人権に関する職場研修会～



障害者理解のためできることを話し合う普及職員

8月30日に普及所で、（公財）高知県人権啓発センターから講師を迎えて「障害者の人権」に関する研修会を開催し、職員9人が障害の種類や、障害に応じた心構えや配慮の具体例を学びました。

嶺北地域では、就労継続支援B型事業所と農業者による農福連携の取組がスタートしており、障害者が働きやすい環境づくりは喫緊の課題となっています。普及所は、研修内容を生かし、障害者と農家の双方にとってプラスとなる農福連携の実現に向けて支援を進めてゆきます。

さあ、最後の仕上げだ！ ～特別栽培米‘吟の夢’現地検討会を開催～



籾の黄熟を確認して、収穫時期を決定！

9月5日、本山町と土佐町で‘吟の夢’（特別栽培米）の現地検討会を開催し、生産者、土佐酒造職員など15名が参加しました。

普及所から収穫適期の目安、胴割粒の発生を軽減するための乾燥方法について説明した後、全は場を巡回して収穫時期を検討しました。生産者からは「乾燥方法が参考となった」との意見が聞かれました。

今後、普及所では栽培履歴を回収し、特別栽培基準を満たしているか確認するとともに、収穫した玄米の品質を調査して、次年度への改善につなげていく予定です。

米ナスの安定出荷を目指して ～JAれいほく米ナス部会現地検討会～



日射比例かん水制御実証
の経過報告を熱心に
検討する部会員

9月9日、JA高知県れいほく営農経済センター米ナス部会は、本山町で現地検討会を開催し、8名の生産者が参加しました。普及所は、日射比例かん水制御の実証経過や環境制御に関する補助事業について情報提供しました。

参加者からは、自動天窓や日射比例かん水制御装置等を導入し、作業の省力化をしたいという声がありました。

普及所では、部会員の高齢化が進む中、作業の省力化による安定出荷を支援していきます。

れいほく八菜の魅力をPR！その1 ～料理教室～



出前授業の様子

9月5日、JA高知県れいほく園芸部が、産地の園芸品ブランド「れいほく八菜」を消費者にPRするため、神戸市中央卸売市場での料理教室（参加者46人）を実施しました。

料理教室では、生産者、JA職員、普及所による「れいほく八菜」の出前授業に続いて、嶺北に訪問経験のあるシェフから米ナスのピザ仕立てなど4品目の食べ方を提案しました。参加者からは「どの料理も非常においしかった。今晚の献立にしたい」という声が聞かれました。

「れいほく八菜」の魅力を伝えるためには、産地からも調理方法やおいしい食べ方などを発信することが重要であると感じたため、今後の販売促進活動で活かすことができるよう支援していきます。

れいほく八菜の魅力をPR！その2 ～試食宣伝～



米ナスピザを試食宣伝

9月5日、JA高知県れいほく園芸部が、産地の園芸品ブランド「れいほく八菜」を消費者にPRするため、料理教室に続いてイオン神戸南店で試食宣伝を実施しました。

当日は、米ナスピザと柚子ジュースの試食宣伝を行い、「米ナスは肉厚で柔らかい」、「ユズの爽やかさが夏に合う」などの感想があり好評でした。普及所は、試食宣伝に合わせて環境保全型農業などの産地の取り組みを紹介しました。店舗では高知県フェアを継続的に実施しており、高知県の取り組みを知っている方もいました。

今後も「れいほく八菜」のブランドが浸透するよう、産地の魅力を伝える取り組みを支援します。

本山町の農地を守り続けるために
～本山町多面的機能支払制度の広域的な取組に関する説明会



広域組織の概要について
説明を受ける参加者

9月10日、本山町役場にて多面的機能支払制度の広域的な取組に関する説明会が開催され、9集落から15人が参加しました。

本山町農業公社から多面的機能支払制度の概要と新たに町内の農地を一元化して設立する広域組織案について説明があり、参加集落からは「事務処理はどこが担当する?」「各集落で田役の金額が違うのでは?」など、組織体制への質問が出されました。

また、取組面積を集計する必要があることから、2月頃に広域組織を設立することになりました。

普及所は本山町、本山町農業公社と広域組織設立に向けた打合せを行い、新たな組織案の作成を支援してきました。今後も引き続き支援していきます。

皆はどうやって管理しゅう? ～甘長トウガラシ現地検討会開催～



整枝について検討中

9月19日、大豊町で甘長トウガラシの現地検討会が開催され、生産者7人が参加しました。検討会は、ほ場3カ所を巡回しながら、各生産者の栽培状況を確認しました。

普及所からは、今後の栽培管理について説明し、広報誌「あまとうだより」を活用し、他産地の情報を提供した結果、参加者は草姿をコンパクトにするために節間を短くし、側枝の稔枝や摘心方法が大切であると課題を共有することができました。

普及所はJAと連携し、共有した課題を解決するよう、管理技術の向上を支援します。

一年間の成果はどうなった? ～土佐町松木野営農組合総会～



年間の活動実績を確認中

9月19日、土佐町松木野集会所にて、平成30年度松木野営農組合総会が開催され、組合員6人が出席しました。

松木野営農組合では水稻作業受託の他、サツマイモの栽培・加工に取り組んでいます。平成30年度にはサツマイモの育苗も開始され、栽培から干し芋加工まで一貫した体制を確立できました。サツマイモ加工は次年度も栽培面積を増やして取り組む予定です。

和田組合長からは「体制ができたので、今後は組織の発展と将来を考えていく段階に入った。イタドリなど新しい品目にも挑戦していく」と、意欲を見せていました。

普及所からはイタドリの現在の状況、水稻の害虫対策について情報提供しました。今後も組織運営やサツマイモやイタドリなどの栽培管理を支援していきます。